

令和7年度 第3回山梨県地域クラブ活動推進連絡会（概要）

1. 日時 : 令和8年2月4日（水）14時00分から16時30分
2. 場所 : 防災新館 409会議室
3. 参加者 :

令和7年度 第3回山梨県地域クラブ活動推進連絡会

2026/2/4開催

No.	所 属	役 職	氏 名	備考
1	山梨学院大学、大東文化大学、山梨大学	名誉教授	遠藤 俊郎	
2	山梨学院大学 スポーツ科学部	学部長	小山 勝弘	欠席
3	山梨大学 大学院総合研究部教育学域人間科学系	教授	関口 浩文	
4	県小中学校校長会	中学部長	清水 岳人	
5	県高等学校校長協会	会長	篠原 健	
6	県小中学校体育連盟	会長	戸田 徳和	
7	県特別支援学校校長会	会長	木村 則夫	欠席
8	県PTA協議会	会長	依田 貴司	丸茂 哲雄（代理）
9	県スポーツ推進委員協議会	会長	飯田 忠子	
10	県スポーツ協会 スポーツ振興課	課長	辻 昌彦	
11	県スポーツ指導者協議会	会長	渡邊 悟	
12	総合型地域スポーツクラブ協議会（SC山梨）	理事長	村松 久義	
13	地域スポーツクラブ代表者（VF甲府）	総合型担当	長田 圭介	
14	県吹奏楽連盟	理事長	秋山 岳巨	
15	昭和町教育委員会 生涯学習課	生涯スポーツ係長	深川 慶太	
16	県スポーツ振興課	課長	村松 達也	
17	県教育庁総務課 教育企画室	室長	石原 武人	欠席
18	県教育庁義務教育課	課長	望月 俊孝	富士池 慎一（代理）
19	県教育庁高校教育課	課長	大久保 雅司	樋口 繁章（代理）
20	県教育庁特別支援教育・児童生徒支援課	課長	玄間 修	向山 広一（代理）
21	県教育庁社会教育課	課長	穴水 美奈子	大間 俊男（代理）
22	県教育庁保健体育課	課長	山本 晃司	
23	県教育庁保健体育課	総括コーディネーター	荻野 昭彦	

【オブザーバー】

25	昭和町教育委員会	コーディネーター	望月 一徳	
26	身延町教育委員会	コーディネーター	石川 君男	
27	中央市教育委員会	コーディネーター	田中 伴泰	
28	韮崎市教育委員会	コーディネーター	藤巻 昭彦	
29	富士吉田市教育委員会	コーディネーター	渡邊 昭男	
30	北杜市教育委員会	コーディネーター	中山 聡子	
29	北杜市教育委員会	行政担当	田丸 敬一	
31	中北教育事務所	地域教育担当	花形 健一	
32	峡南教育事務所	地域教育担当	宮澤 研	
33	アスフィール(株)		小林 達也	

【事務局】

34	県スポーツ振興課 主幹	事務局	高野 泰仁	
35	県スポーツ振興課・生涯スポーツ担当 副主幹	事務局	秋山 知洋	
36	文化振興・文化財課・文化芸術振興担当 課長補佐	事務局	渡辺 忠正	欠席
37	文化振興・文化財課・文化芸術振興担当 主事	事務局	小泉 秀佳	
38	県教育庁義務教育課・教育指導担当 課長補佐	事務局	富士池 慎一	
39	県教育庁義務教育課・教育指導担当 指導主事	事務局	富高 勇樹	
40	県教育庁特別支援教育・児童生徒支援課・特別支援教育担当 課長補佐	事務局	向山 広一	
41	県教育庁社会教育課・青少年教育担当 課長補佐	事務局	大間 俊男	
42	県教育庁社会教育課・社会教育担当 課長補佐	事務局	永井 恵子	
44	県教育庁保健体育課・学校体育担当 課長補佐	事務局	岡部 伸二	
45	県教育庁保健体育課・学校体育担当 指導主事	事務局	渡辺 健太郎	
46	県教育庁保健体育課・学校体育担当 指導主事	事務局	田鹿 欣孝	

4. 内容

(1) 報告

① 本年度の実証事業成果等報告について（スポーツ：12市町・文化：2市町）

(1)甲府市

- ・甲府市内中学校の部活動、剣道・バスケットボール・バレーボール・サッカー・テニス・ソフトテニス・柔道・野球・マルチスポーツを地域クラブ活動として活動。
- ・来年度、すべての休日運動部活動を地域クラブへ移行

(2)南アルプス市

- ・南アルプス市内のホッケーを地域クラブとして大会以外の休日は地域クラブとして活動中。その他に、女子ソフトボール・女子バレーボール・サッカー・柔道・バドミントン・野球をそれぞれの実情に応じた地域展開を実地。
- ・来年度、各中学校1部活以上の地域展開（予定）

(3)中央市

- ・田富中、玉穂中の男子バレーボール部の合同チームを地域クラブとして認定。7月から週末（土日）に活動している。7月の県総合体育大会に出場して関東大会への出場権を取得し、群馬県前橋市で行われた第60回関東中学校バレーボール大会へ出場した。
- ・来年度、地域クラブ活動支援につながる運営組織の充実を目指す。

(4)昭和町（スポーツ&文化）

- ・バスケットボール女子・卓球男子・卓球女子・バレーボール男子・バレーボール女子・陸上・ソフトテニス男子・ソフトテニス女子・自然科学部・美術部（外部指導者導入）・ダンス部（地域クラブ活動として活動）・なぎなた部（地域クラブ活動準備中）
- ・来年度、既存部活動への完全地域クラブ活動化への仕組みづくりをおこなう。

(5)韮崎市（スポーツ&文化）

- ・韮崎市市内すべての運動部活動（軟式野球・サッカー・陸上・男女ソフトテニス・剣道・男女バスケットボール・女子バレーボール）、文化部活動（吹奏楽）で地域クラブ活動として地域指導者の指導のもと実施。東西中での合同クラブ化を検討していく。
- ・来年度、受益者負担の検討をおこなっていく。

(6)北杜市

- ・バドミントンの地域クラブ活動体験会を実施。
- ・来年度、北杜市版ガイドラインの策定を進める。

(7)山梨市

- ・剣道・男女ソフトテニス・卓球・サッカー・空手・陸上で定期的に地域クラブ活動を実施。
- ・来年度、運営・指導体制の再構築・環境整備を進める。

(8)甲州市

- ・ラグビー・卓球・ソフトテニスで定期的に地域クラブ活動を実施。
- ・来年度、地域クラブの認定を拡大し大会への参加を目指す。

(9)身延町

- ・身延中学校柔道部を試行的に月1回程度、地域クラブとして活動実施。
- ・来年度、コーディネーターの活動推進と身延町版ガイドラインの策定を進める。

(10)富士吉田市

- ・軟式野球とスピードスケートで地域クラブ活動を実施。
- ・来年度、児童・生徒へのニーズ調査及び地域クラブ数の拡大を進める。

(11)都留市

- ・都留市内の8種目の活動（陸上競技・ソフトテニス・バレーボール・卓球・剣道・ラグビー・相撲・野球）をそれぞれ地域クラブ活動として活動中。
- ・来年度、市認定地域クラブ活動の認定制度検討と周知をおこなう。

(12)上野原市

- ・上野原中学校サッカー部及び上野原西中学校の野球を地域クラブとして活動実施。
- ・来年度、地域クラブ活動化のための制度等の整備を進める。

② 県内市町村の進捗状況等について

○協議会等の設置について

- ⇒ 設置済み：27市町村 ※残り1市町村も2月までに設置予定。
- ※本年度中に全ての市町村で設置完了。

○コーディネーターの配置について

- ⇒ 設置済み：16市町村 行政職員兼務：9市町村 配置検討中：3市町村

○情報発信について

- ⇒ HPに専用ページ設置：9市町村 保護者や子どもへ説明会等実施：12市町村
- 学校(先生方)へ説明会等実施：17市町村

○本年度の地域クラブ活動(スポーツ・文化)への移行の取組実施について

- ⇒ 国の事業を活用して実施：12市町村 (うち両方実施：2市町村)
- 市町村独自で実施(体験会等含む)：16市町村

○令和8年度「部活動の地域展開等推進事業」への参加について (R7.9月時点)

- ⇒ スポーツ活動：19市町村 文化活動：9市町村
- ※1/20の国の事業説明会を受け、再度市町村へ意向調査を実施中

(2) 議事

① 「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」について

- ・12/22、国から新しいガイドライン発出。
- ・国のガイドラインを受け、「新やまなし版ガイドライン」策定へ。
- ・課内及び関係課で素案を検討し、修正案を作成。
- ・県推進連絡会にて、修正案の特に「山梨県の改革の方向性(案)」について協議していただき、意見聴取をおこなう。
- ・以降は、スケジュール(案)を経て、3月中に策定・発出を目指す。

○「山梨県の改革の方向性（案）」

【休日】

- 令和12年度末までに、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す。
 - 令和13年度以降は、休日の地域クラブ活動の持続的な実施の推進
- ※地域の実情等に応じて、できる限り前倒しでの実現を目指すことが望ましい。
- ※特殊な事情により地域展開に困難を伴う場合等には、部活動指導員の配置等を推進。

【平日】

- 各種課題を解決しつつ更なる改革を推進。
- 市町村等においては、休日における取組の進捗状況等を検証し、地域の実情等に応じた取組を実施。
- 県においては、市町村等が実現可能な活動の在り方や課題への対応策の検証等を行うとともに、中間評価の段階で改めて取組方針を策定し、更なる改革を推進。

【市町村等の取組目標】

年度	具体的な取組目標
令和8年度	1つ以上の地域クラブ活動の実施（次年度以降も継続して実施）
令和9年度	自治体内の休日実施している学校部活動数の20%以上を地域クラブ活動へ展開
令和10年度	自治体内の休日実施している学校部活動数の50%以上を地域クラブ活動へ展開
令和11年度	自治体内の休日実施している学校部活動数の70%以上を地域クラブ活動へ展開
令和12年度	自治体内の休日実施している全ての学校部活動を地域クラブ活動へ展開
令和13年度	休日の地域クラブ活動の持続的な実施及び平日を含む活動へ拡大

○スケジュール（案）

- ・R8.2.4 : 第3回山梨県地域クラブ活動推進連絡を受け、修正案④を作成。
- ・R8.2.9～2.20 : 関係者・関係団体に修正案④を電子及び紙ベースで共有。フォームアンケート機能を使って意見聴取。
- ・R8.2.26 : 第4回地域クラブ活動への移行に関わる市町村担当者会にて、追加意見等の聴取。
- ・R8.2.27～ : 最終案作成及び県庁内関係者と共有・検討・修正
- ・R8.3月中旬 : 臨時「山梨県地域クラブ活動推進連絡会」（オンライン or 紙面）にて、最終案について協議・承認
- ・R8.3月下旬 : 新やまなし版総合的なガイドライン策定・発出

5. 主な発言（●質問 ○意見）

- 休日は明確な目標が出ているが平日の地域クラブ活動について考えがあるか
⇒国の動向や休日の実施状況・体制整備を鑑み、本県も進めていけたらと考えている
- 市町村取組目標のパーセンテージを出した考え方は
⇒国の調査よりR8が30%だったため、一年遅れで20%を示し、その後R12の100%に向かって段階的に数値を上げていった。
- 一つの市町村では成立しない小規模地域の子供たちの活動の場を、県として支援していただきたい。近隣市町村都の連携や広域的な連携を進めていただきたい。

- コーディネーターの集まりや市町村担当者の集まりを活かし、県全体束になって取り組んでいけるような県のリーダーシップをお願いしたい。
- 数値目標があると仕事が進めやすいので良いと思う。しかし、各自治体の担当者が覚悟を持って取り組まなければならないし、各自治体の体制整備がしっかりおこなわれないとこの数値は高いハードルになると考えられる。
- 文化部（吹奏楽部）については難しいところがあるが、来年度甲府市が先行的に進める予定がある。この取組を吹奏楽連盟の各支部で情報共有している。甲府市の取組を他の市町村が参考にして進めていければよいと思う。
- 地域での連携・協働が重要。市町村の温度差は仕方ないが、県のリーダーシップで、子供たちの活動の場を守っていただきたい。
- PTA 協議会として、部活動改革について周知・理解の場をつくっていかれたらと考えている。
- 来年度から地域クラブの教育内大会出場が多くなってくると考えられるが、認定制度を経て参加することにより、安心して大会運営が行えると考えている。また、県内大会に限るが、県指導者研修会受講修了者には大会参加資格を与える制度を進めている。